いわき市長からのお願い

１．本日（３月１９日）の状況
・発災してから一週間が経ちます。浜通りは、過去に類を見ない巨大地震、大津波被害に加えて、原発事故の三大災害に見舞われております。
また、この災害により燃料や食料品、日用品などが枯渇している現状です。これらの要因として、屋外退避の３０㎞圏内が、市内のごく一部でありながら、市内全域を退避エリアと誤解し、物流車が市内に入ってこない状況となっています。
・市内の沿岸部では、大津波により避難生活を強いられておりますが、いわき市のほとんどは３０㎞エリア外であり、原発の影響はほとんど無いことを理解していただきまして、物流を正常化していただきますよう、切にお願い申し上げます。

２．今ほしいもの
・いわき市は広大な面積の中で３４万人の人たちが暮らしています。そのために移動手段として、車が欠かせないものとなっています。日常生活を行う上でガソリンの確保は必然です。一刻の猶予もありません。ガソリンを運んできて下さい。
・また、介護用品(紙おむつ)、赤ちゃん用必需品(紙おむつ、粉ミルク、離乳食)、生理用品も不足しています。
・食料品も不足しています。レトルト食品、缶詰、カップ麺、インスタント食品等保存の出来る食料品をお願い致します。